会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 藤村
日 時	平成25年5月7日(火)		開 議 午後 1 時 30分 閉 議 午後 2 時 45分
出席委員	吉田 田中 並河 山本 中村 西村 石野 堤 <木曾議長>		
執行機関出席者	山内政策推進室長、桂政策推進室担当室長、竹村政策推進課長、柏尾政策推進課担当課長		
事務局	今西事務局長、藤村事務局次長		
傍聴	可・否	市民 1名 報道関係者 0名	議員 1名(中澤議員)

会 議 の 概 要

1 吉田委員長 あいさつ 開議

2 事務局日程説明

13:33~

3 事件

行政報告

(1) 土地開発公社経営健全化計画5年間の総括について

政策推進室長 挨拶、異動職員紹介

政策推進課長 説明

~ 13:41

< 質疑 >

< 並河委員 >

残りの2事業用地の今後の見通しはどうか。

< 政策推進課長 >

火葬場等整備事業用地は都市計画決定済みであるので、火葬場用地として活用を図っていく。西別院工業団地については売却方針である。

< 並河委員 >

西別院工業団地は今、1年毎の契約で貸し付けているが早期の売却は考えているのか。

< 政策推進課長 >

相手があることだが、早期にと考えている。

< 堤委員 >

西別院工業団地用地は貸付先が買い取りを希望していると聞いているが、利子に見合う貸付であるのか。また、売却は一体何年度を目途に考えているのか。

< 政策推進室長 >

企業誘致の担当は産業観光部であるが聞き及んでいる範囲で答える。現在、1事業者に年額150万円で一部を貸している。利子に見合う貸付かどうかであるが、一部

の貸付であるので満たない。ただ、今は有利子貸付は無いので金利は生まない状況にはした。先方は買い取り希望はあるが金額的な話がまだつかない。市は一括売却を考えており、将来的には全部を買い取る前提での分割売却と考えている。話が付けばできるだけ早期に売却したい。

< 堤委員 >

買い取るがその時期は決まっていなると、その間に他からの買い取り希望があればどうするのか。誰がどのように判断するのか。

< 政策推進室長 >

現在3社から声がかかっており、その一つが現在の貸付先である。市にとって有利なところに売却することになる。一旦、市に買い戻して、市が売却することになるだろうと思われる。その場合は議決議案となる。産業観光部で継続して話をしている。

< 堤委員 >

土地開発公社が買うときは工業団地用地として購入した。用途以外に活用する時に地元の承諾を得なければならないという約束があるのか。

< 政策推進室長 >

成文化したものは私は見たことがない。当時はそれ以外に使うことは想定されていなかったと思う。近年、地域こん談会で議題に上がってきている。工業用地にするには相当の市の投資が必要になる。議会の特別委員会からもこれ以上の投資は控えるべきとのご意見をいただいているのでその方向で行く。製造業に拘わらず企業活動をされるところに売却するという説明を地元にはしている。地元の同意がなかったらできないということにはなっていない。

< 西村委員 >

「平和の森」と「長尾山」について、市としての管理の考え方は。現在の管理費は。

< 政策推進室長 >

「平和の森」は都市計画公園に指定しており、市としての整備が必要となる。「長尾山」は地元で管理していただいているが、H24は、バイオトイレ設置、H25には入口用地確保の予算が計上されている。市民が利用しやすい環境づくりのために可能な限り行政が支援していくことになる。

< 中村委員 >

これまでの買戻しに係る17億円強の起債は交付税措置があるか。

火葬場については夢ビジョンの前期計画の中で計画策定となっているが、具体的にその方向で進んでいるのか。わかれば答えられたい。

< 政策推進室長 >

H20に買い戻した市道北古世西川線用地は臨時地方整備事業債があたっており、30%の交付税措置がある。それ以外は公社経営健全化債で利息の50%が充当されている。

総合計画前期計画5年で方向性を明らかにすると聞いている。その進捗状況は定かでない。

< 堤委員 >

火葬場用地は1999年に反対者はいないということで買収した。長尾山では反対があり、できないということなので丸山を購入した。ところが説明会で反対があり、建設をストップした。もっと地道に取り組まなければならない。本当に市はやる気はあるのか。

< 吉田委員長 >

担当課でないが答えられるか。

< 政策推進室長 >

H9に土地を取得し、10数年たっている。都市計画決定を受けているので建設することは間違いないが時期はわからない。H30何年頃に火葬のピークが来ると言われているので、現火葬場では対応できない。それまでに建設する予定であると思っている。

< 並河委員 >

京都府は都市計画決定したということだが、国の基準でいくと住宅地や幼稚園からも近いのでダメと聞いた。本当にできるのか。

< 政策推進室長 >

詳しいことは分からないが、法に抵触しなければできると思っている。住宅地であるからできないということではないかと思う。

< 吉田委員長 >

起債の償還は10年か。

土地を買い戻した時に無利子貸付債は返さなくてもいいのか。

市の債務保証が切れたと思うが、貸したままの状態で法的に大丈夫なのか。

< 政策推進室長 >

2年据え置き8年償還。

償還が発生する。

金融機関に対しての債務保証であるので市が貸すのは議会の同意があれば大丈夫である。

< 吉田委員長 >

8年で返済すると年額で3億円ほどの返済になる。財政的な見通しは大丈夫か。

土地を取得する際に土地取得事業債に切り替えることは可能か。

< 政策推進室長 >

たぶん大丈夫であるとしか言えない。財政見通しの計算に入れていると思う。

わからない。できるならば充てていきたい。

< 吉田委員長 >

合計で25億円ほどの起債を8年で返していくことになる。財政課と緊密に連携を取って余裕を持って支払えるようにされたい。

売却する相手があるのに繰り上げ償還するお金がないために売却ができないということのないようにされたい。

(政策推進室 退室)

~ 14 : 07

4 その他

行政視察について

< 吉田委員長 >

行政視察についてを議題とする。まずは事務局から説明させる。

< 事務局 >

< 行程、追加資料、視察先概要について説明 >

< 吉田委員長 >

資料に挙げた視察項目以外に質問項目があれば出されたい。

< 並河委員 >

草加市の学校給食は大変歴史があるが、アレルギーのある子供への対応をどうされ

ているか聞きたい。

< 吉田委員長 >

視察の目的は項目にあるとおりだが、何か決めたほうがいいのか。

< 事務局 >

視察を実施されるにあたり、委員会の視察目的について意思統一をされたい。

< 吉田委員長 >

秦野市は公共施設白書等を視察するが、ファシリティマネジメントの観点で亀岡市が抱えている施設老朽化問題等にどう対応すべきか、議会からどう提案していくかを勉強させていただくことを視察目的としたい。

富士見市の事業仕分けについては、なぜ実施され、なぜやめられたかについてを聴かせていただき、合わせて構想日本でも同様にその点を聴きたい。

< 中村委員 >

草加市の学校給食について、地産地消に取り組んでおられるが全品目で実施されているのかを聴きたい。また、自校方式だが調理現場を見ることはできるのか。

< 事務局 >

草加市にお願いしておく。

< 吉田委員長 >

草加市については、学校給食を通じた食育について視察する。

それぞれが目的意識を持って視察に臨まれない。

次に、視察報告について、次回の議会運営委員会で各委員長がまとめることに決まりそうだということだが、どのようにするか。この報告書の様式に各自が書き留め、改めて視察の総括の場を持ち、皆さんの意見を委員長が集約するというのでいいか。

全員了承

それでは、総括の場を6月定例会の中ですか、5月中にもう一度開催するか。

(早い方がいいという声あり)

それでは、5月30日(木)の午前でどうか。

全員了承

それでは、5月30日(木)午前10時と決定する。他に、事務局から連絡はあるか。

< 事務局 >

< 乗車券の配付・確認、1日目の昼食等連絡 >

< 吉田委員長 >

それでは、これで、総務文教常任委員会を閉議する。

14 : 45 閉議